

ゐのはな華道部

杉浦 寿彦

小原流いけばなの会

本サークルの顧問を務めていただいていた白澤浩教授から、原稿の依頼を頂いたのは本記念誌の締め切り間近でした。本学にある錚錚たるサークルに比べると、10年程度の歴史しかないためOB、OGが少なく、またすでに休部（廃部？）状態であり現役の部員も不在というなかで、たまたま筆者が大学に残っていたということで白羽の矢が立てられました。確かに歴代の部員の中では在籍年数は最長であり、部長もやらせてはいただきましたが、創設メンバーではなく、本来であればこのような文章を書く立場にはないとは思っていますが、とりあえずこのようなサークルが存在したということを記録に残すということで、ご容赦をいただければと思っています。

華道（いけばな）は仏前に花を供える「供花」から始まり、室町中期に池坊専慶によって「立花」として確立したとされています。江戸後期から明治初期にかけての隆盛期に、多くの達人・名人が現れ、彼らがそれぞれ流派を確立していったため、現在でも多くの流派が存在しています。その中で我々のサークルは小原雲心を祖とする「いけばな小原流」を学んでいました。

元々は、小原流の河田陽子先生を師範とする、職

員のサークルとして存在していたところに、平成6年、当時の5年生数人が入門して、学生サークルになったと聞いています（この辺の詳細は筆者はよく承知をしていません）。筆者が医学部に入学したのが平成8年でした。何かの部（少なくともゴルフ部ではなかったと記憶しています）の勧誘会の席で、筆者が中高と茶道部にいたという話をしたとき、「亥鼻に華道部はあるよ、似たようなものだろうから来てみない？」とお誘いを受けて、5月頃に見学に行ったと記憶しています。当時は同窓会館の2階の一番西側の10畳を教室として使っていました。学生が原則使用しない部屋であったため、東側にあった他の部屋に比べれば、障子が破れていたり、畳が腐っているということはなくずいぶんましでしたが、この当時でもすでにかなり傷みがすすんでいた印象があります。稽古日は毎週木曜日（月3回）で、職員、学生あわせて十数人がお稽古していました。学生は各運動部を引退した学3、学4がメンバーのほとんどで、女性陣ばかりでしたのでずいぶん華やかだった印象があります。

顧問は当初第二外科の落合武徳助教授（当時、現先端応用外科学名誉教授）にお願いしていましたが、平成11年より微生物学第一教室（現分子ウイルス学）の白澤浩教授に交代となりました。

平成10年までは同窓会館を教室として使っていま



1995年(平成7年)頃 ゐのはな同窓会館にて



1999年(平成11年)頃 附属病院内 華展にて

したが、冬はすきま風で極めて寒いという問題があったり、また老朽化が激しくなり、使用が困難かつ危険となったため、平成11年頃から大学病院内(職員食堂)に教室を移しています。

サークルの大きな行事として華展(生け花の作品を展示する)の開催があります。それまでも年に1回程度千葉市内で場所を探して行っていましたが、平成11年6月に附属病院内で「花とやすらぎ」というテーマで2日間の日程で開催しました。病院内の開催はサークルが立ち上がった頃からの念願で折衝は繰り返していましたが、種々の問題がありなかなか実現しませんでした。しかし当時病院長であった山浦晶教授(現脳神経外科名誉教授)に「患者さんへのアメニティーの向上になるから」と言うことで許可をいただき実現にこぎ着けました。「患者さんの動線を妨げないスペースで」という条件があり場

所を探すのにずいぶん苦労しましたが、外来ホール棟の2階に場所を見つけました。やや日立たない場所であったため、どれくらいの来訪者があるかという点が不安でしたが、アンケート(見てくれた方に気に入った作品と感想を書いていただきました)は2日間で500枚を超え、ほっとした記憶があります。その後も歴代の病院長のご厚意により年1回程度華展を実施しています。

ただ学生サークルとしてはこの頃から部員数が減り始めています。部長であった筆者の努力が足りなかった事が一番ではあるとは考えていますが、カリキュラムの変化や国試の難化、新臨床研修制度の開始で、特に高学年に余裕がなくなってしまったのも一つの要因とも思っています。職員サークルとしては継続していますが、結局筆者より下の学年の医学部学生の入部がなかったため、学生サークルとしては今のところ休部(廃部?)となっています。

このような機会があるとは当時は全く思わなかったため、将来のためのマニュアルは作っても過去の記録を残すということを全くせず、今となっては非常に後悔しているところです。そのため、この文章は筆者の記憶を頼りに書いていますので、誤りがあるかもしれませんがご容赦を頂ければと思います。

(すぎうら としひこ)